

平成 28 年度の活動

◆河川の状況調査◆



河川調査（養老町生活と環境を考える会）

- 定点観測（水質調査、水生生物）を毎月 1 回、河川調査を広見小学校 4 年生と 4 回実施した。（可児市めだかの学校）
- 雨が降ると上流からペットボトルなどゴミが流れてくる。上流からの清掃が不可欠。（清水川を愛する会）
- ゴミもなくきれいだった。（各務原市生活学校）
- 水際にヘドロ、ごみがある。（根本愛郷会）

◆家庭生活で実践したこと◆

<台所>

○流しから調理くず等を流さない。（必須）

- 三角コーナー、ネットを活用した。又、段ボールコンポストにとりくんだ。（天神川を考える会ほか）
- できる限り畑に肥料（ボカシ利用）として使う。（中津川市生活学校ほか）
- 調理くずを出さないよう食材を余すことなく活用した。（羽島中央生活学校）

○食用油は流さず適正に処理する。（必須）

- ペーパーで拭き取ってから洗う。（金山町生活学校ほか）
- 使い回して、使い切る。（四つ葉会）
- 廃油せっけん、廃油ロウソクを作っている。（広幡地域女性の会ほか）
- リサイクルステーションで資源として出した。（美濃加茂市生活学校ほか）

○汚れのひどい食器等は洗う前からふき取る。（必須）

- キッチンスクレーパーを特に使用するようになった。（論田川を美しくする会）
- 台所に古布を常に置いて活用した。（天神川を考える会ほか）
- 紙や野菜くずでふき取る。（養老町生活と環境を考える会）

○米のとぎ汁をそのまま流さない（任意）

- ・庭木にまく。（養老町女性会議ほか）
- ・せっけんの材料や、花や野菜にかけ肥料にした。（養老町生活と環境を考える会ほか）
- ・無洗米を使用した。（岐阜市生活学校）

○台所の洗剤は適量使用する（任意）

- ・アクリルたわしを使用した。（養老町女性会議ほか）
- ・洗剤容器に表示されている適正量を守った。（羽島中央生活学校）
- ・どろどろせっけんを利用した。（可児市生活学校）

<洗濯>

○洗濯洗剤を適量使用する（任意）

- ・洗剤容器に表示されている適正量を守った。（美濃加茂市生活学校ほか）
- ・川にやさしい洗濯洗剤を利用している。（広幡地域女性の会）

○洗濯・その他

- ・まとめ洗いをする。（大垣市生活学校ほか）
- ・風呂の残り湯で洗車する。（論田川を美しくする会）

<風呂場>

○石鹸、シャンプー、リンスを使いすぎないようにする（任意）

- ・手の中で洗剤をよく泡立ててから使う。（金山町生活学校ほか）
- ・薄めて利用、またリンスを川にやさしいものを手作りした。（広幡地域女性の会）

○風呂場・その他

- ・入浴剤はなるべく使わない。（四つ葉会）
- ・洗濯に利用している。（可児市めだかの楽校ほか）
- ・シャワーの使いすぎに注意した。（岐阜市生活学校）

◆普及啓発活動◆

- ・地域の小学校のふるさと学習の講師となり、天神川の水質調査を実施し、啓発した。（天神川を考える会）
- ・回覧を使用しての啓発活動を行った。（清水川を愛する会）
- ・市のイベントに参加し、啓発活動を行った。（各務原市生活学校ほか）
- ・会員を対象とした水環境学習会を河川環境楽園アクア・トトにおいて開催し、河川の水質や水の循環などについて学んだ。学習した内容は、家族や知人・友人に対して啓発した。（羽島中央生活学校）
- ・毎年1回地域の自然を守る会と合同の河川調査を実施している。その結果は新聞の折込みチラシで地域に配布されている。（中津川市生活学校）
- ・廃油処理の工夫の講習会（アクリルたわし作り、ろうそく作り）を開き、地域、会員に呼びかけている。（広幡地域女性の会ほか）
- ・28年の大雨大水で河川が深く流れが変わっていた。又、河川にはその時の残土や木、ゴミなどが残り、水はきれいであるが河川がきたなく、ゴミ集めが必要と感じた。（土岐市女性連絡協議会）
- ・環境フェスタでブース展示を行った。（可児市生活学校）